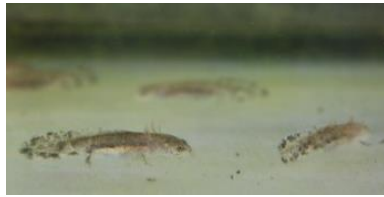




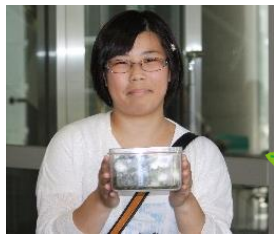
～カイコとトウキョウサンショウウオを飼育中です～

植草学園大学では、カイコとトウキョウサンショウウオを飼育し、生き物の成長を見ることができます。

カイコは卵から出てきてしばらくは黒い幼虫でしたが、日が経つにつれて白く大きくなり、今では繭と成虫のカイコが見ることができます。



トウキョウサンショウウオは、はじめは卵の集合体で、そこから孵化し、幼生になります。成長して行くにつれ、手、足の順ではえてきます。また、トウキョウサンショウウオは大学周辺の小学校へ持っていき、成長過程を観察してもらっています。



私は保育士をめざしています。将来は、子どもたちに虫のことをたくさん話してあげたいです。

植草学園大学 発達教育学部
3年 島田 冴子
千葉県立土気高等学校出身



*カイコとトウキョウサンショウウオはL棟1階入り口付近で飼育しています。オープンキャンパスのお帰りの際には、飼育箱や水槽をのぞいてみてください！



～「教員採用試験対策講座」を実施しています～



教職支援コーディネーター(元公立学校長)が、大学3年生後期と4年生前期に、それぞれ15週以上、週1～2コマの「教員採用試験対策講座」を実施しています。大学生の他に、短期大学や専攻科、科目等履修の学生も参加しています。

講座では、教員志望の学生から要望の多い、教育施策や教育時事などの「教職教養」、小学校・特別支援学校対象の「専門教科」について扱うほか、小論文、面接、模擬授業等について一人ひとりについていねいな指導を行っています。

また、月～金曜日まで、小学校・特別支援学校教諭をめざす学生への日常的な相談も行っています。

～障害者施設での実習を終えて～

障害者施設の職員のみなさんは、利用者の方が作業をするのをただ支援していくのではなく、「利用者の方自身が経験すること」を大事にしています。

食品加工科では、パンを利用者の方と一緒に作り販売します。利用者の方と販売に行くことにより、地域の交流に繋がりが、多くの人と関わる経験になります。

また、利用者の方の健康面にも配慮していました。施設内での作業ばかりではなく、ジョギングや施設外作業のポスティングなどを行います。健康であってほしいという思いを感じる支援をしていることを学びました。

私は福祉施設に就職をしたいと考えています。これまで、障害者施設のボランティア活動を通して、職員の利用者の方との関わりを学ぶことができました。更に今回の実習では、職員がどのような思いをもって支援しているかを、学ぶ貴重な機会になりました。

植草学園大学 発達教育学部 4年 岩本 千尋
千葉県立千葉南高等学校出身



実習でお世話になった施設のパンは、大学キャンパス内で水曜日・金曜日に販売しています！



～演劇サークル「Raison D'etre」紹介～



私たち演劇サークル「Raison D'etre」は、サークルパフォーマンスデー(昼休みを利用して、サークルが日頃の活動・練習を発表する日)で、自作の劇「カフェ」を上演しました。

この劇は、店のマニュアルが「お客さんと店は対等である」というカフェに初めて来店した男性と、店員とのやりとりで展開されていくストーリーです。練習時間が短く、不安もありましたが、観てくれた学生から「面白かった」等の感想をいただくことができました。

これからは、11月の緑栄祭(学園祭)に向けて練習を開始します。メンバーも、お客さんも楽しめる劇をメンバー全員で作っていきたいです。みなさんのご来場をお待ちしています！

演劇サークル Raison D'etre 代表
植草学園大学 発達教育学部 3年 田仲 悠樹
千葉県立柏井高等学校出身